

富山県若年性認知症 相談・支援センター

社会福祉法人 富山県社会福祉協議会
富山県若年性認知症相談・支援センター
〒930-0094 富山市安住町5-21サンシップとやま2階
富山県難病相談・支援センター内
TEL 076-432-7501 FAX 076-432-6578

活動だより

若年性認知症の方は働き盛りの年代であり、診断されてもすぐに何もできなくなるわけではありません。しかし、ご本人に労働意欲があっても、病気に対する理解がないために仕事を続けられなくなる、再就職が困難になるなど様々な課題があります。さらに社会保障などの制度を知らないために生活が困窮することも少なくありません。

当センターでは、職場との調整のアドバイスや福祉作業所等の就労支援、また、利用できる制度やサービスの情報をお伝えするとともに手続き方法や申請などの支援を行っています。ご本人ができること、やりたいことに寄り添い、自分らしく暮らし続けていけるよう関係機関の皆様と連携を図りながら今後も支援していきたいと思ひます。

令和6年度 活動実績

相談・支援

相談者数は、実数50人、延数168人でした。
年代別では50歳代が最も多く20人、次いで60～64歳が18人でした。相談者は家族が最も多く7割以上を占めています。病名では「アルツハイマー型認知症」が5割以上、「認知症を疑っての相談」は約2割でした。相談内容では、「症状や生活上の困難について」が、最も多くなっています。

若年性認知症支援コーディネーターが相談に応じています。

電話相談・面接相談

月～金曜日 9:00～16:30
土曜日 13:00～16:00

TEL 076-432-7501

◆相談者数

実数	50人
延数	168人

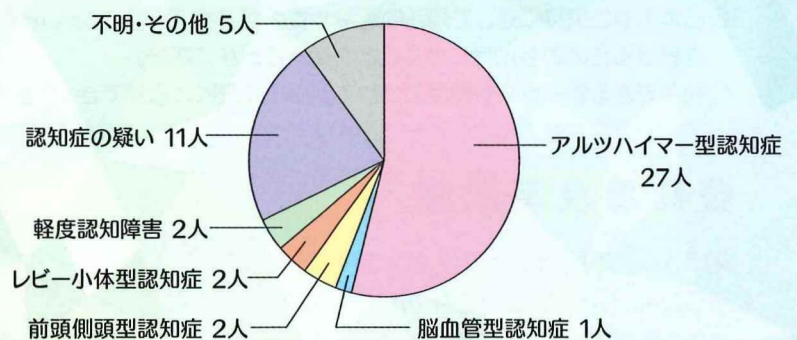
◆相談対象者の年代(実数)

39歳以下	1人
40歳代	4人
50歳代	20人
60～64歳	18人
65～69歳	7人
70歳以上	0人

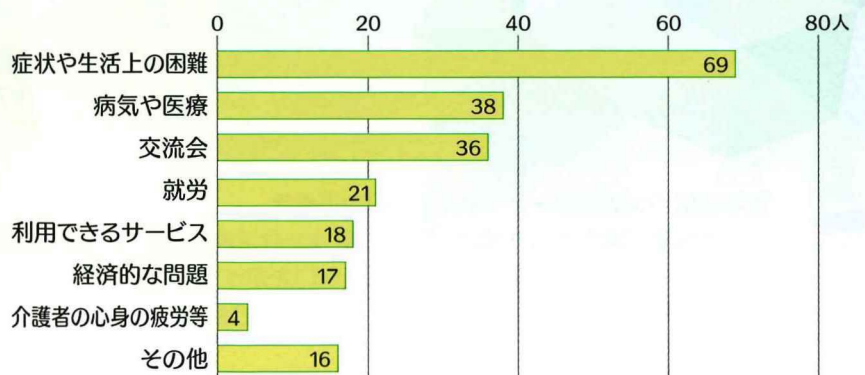
◆相談者の内訳(延数)

本人	9人
家族	123人
その他	36人

◆病名(疑い含む)(実数)



◆相談支援内容(延数)



本人・家族の交流会

本人・家族が気軽に話ができる集いの場を開催しています。

●なないろカフェ〈本人・家族の交流会〉

奇数月の第3土曜日午後6時開催し、延30人(15組)が参加されました。

初めて参加される方や症状が様々であることから、本人家族を交えて交流会を行いました。ご本人からは、日中は一人で過ごしている方が大半で、散歩や近くへ買い物に行く、ペットの世話をする、何もしないなど、日頃の生活の事を和やかに話され、「仕事を何とかしなければ」「車の運転ができず外出したいが行けない」などの悩みも話されました。

ご家族からは、本人の就労や日中の居場所についての悩みや介護者の思いを話され、制度やサービス利用、新薬に関する情報交換などもありました。



●おしゃべりサロン〈家族の交流会〉

偶数月の第3火曜日午前6時開催し、延25人(23組)が参加されました。

経済面での制度、福祉作業所や介護保険のサービス利用について情報交換を行いました。

また、発語が少なく、表情が乏しくなってきたり、少しでも本人の思いを理解するように心がけているなど介護者の思いや悩みについて話し合いました。



支援者のための研修会及びネットワーク会議

研修会をととして関係機関と連携を図っています。

開催日	内 容 (オンライン開催)	参加者
令和6年 10月29日	○講 義 「若年性認知症の人が利用できるサービス・制度について」 講師 国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター 認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 高見 雅代 氏 ○活動報告 富山県若年性認知症相談・支援センター	111名 [地域包括支援センター、 行政、医療機関、 居宅介護支援事業所、 相談支援事業所等]

〈感想〉

- 若年性認知症支援コーディネーターの役割を知ることができた。また、介護保険以外に利用できる制度やサービスの知識を得ることができよかった。
- ご本人やご家族に対して周囲の理解や協力が必要であり、いろいろな制度を利用することで経済面の不安の軽減や日常生活を続けるための手助けになることを知ることができた。
- 利用できるサービスや制度について具体的に聞くことができ、今後の支援に活用したい。 など

啓発普及事業等

若年性認知症のことや当センターを知ってもらうため、リーフレットを配布しています。

また、地域で行われる関係機関の勉強会で活動紹介や事例報告を行い、周知及び連携を図っています。

下記リーフレットをご希望の方は、当センターへお問い合わせください。
またホームページからダウンロードできます。



センター
リーフレット



企業等・職場向け
リーフレット



若年性認知症
ハンドブック

ホームページは
こちらから



若年性認知症支援コーディネーターのつぶやき

若年性認知症かもしれないと思った時、または診断された時、どこに相談したらよいかかわからないうちに時間が経過してしまします。そのため、当センターの相談窓口を知ってもらうことを目的に、ポスターを2種類(行政機関等向けの一般用と医療機関用)作成しました。このポスターがご本人ご家族の目に留まり、相談につながることを願っています。